



## 那覇長崎平和交流事業

本市では、平和に対する意識を高め、今後の沖縄での平和活動に貢献できる人材育成を目的とし、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に中学生を派遣しております。



主催：那覇市総務部平和交流・男女参画課

問合せ先：(メール) S-HEIDAN001@neo.city.naha.okinawa.jp

(電話) 098-851-5195

### 「長崎少年平和と友情の翼」長崎市訪問団との ～平和学習・交流会～

**平和学習・交流会 平成28年7月27日、28日**

**沖縄都ホテル、平和記念資料館ほか沖縄県南部戦跡**

・那覇・長崎の次代を担う少年・少女が集い、沖縄にて研修・交流を通してお互いの連帯と友情を深めながら、平和の尊さと社会参加の意義を学ぶこと目的に平成8年より開始され、今回で19回目となります。青少年ピースフォーラムへの派遣に向けた事前研修も含めて実施しております。



戦争体験講話

**1日目(7月27日) 戦争体験者講和の聴講、交流会の実施**

- ・白梅学徒隊の中山きくさんによる戦争体験講話を聴講しました。
- ・交流会では、長崎市と那覇市の学生による名刺交換をはじめ、那覇市の学生による平和に関する舞台発表に長崎市の生徒も参加し交流を深めました。



交流会(名刺交換)

**2日目(7月28日) 沖縄県南部戦跡巡り、意見交換会(グループワーク)の実施**

- ・八重瀬町戦争遺跡公園のヌヌマチガマ(壕)に入り、戦時中の状況についてガイドの説明を聞き、当時の雰囲気体験しました。
- ・グループワークとして「身の回りで起きている争いごと」について、それぞれ付箋に書いて意見を出し合い、解決方法について考えました。



平和記念資料館集合写真



意見交換会



ガマ(壕)の体験



平和に関する舞台発表

#### 【ピースフォーラムの意見交換で出た意見】(平和のために身近に出来ることは)

- ・広い心を持って相手のこともしっかり考える。
- ・それぞれがそれぞれの意見を持ち、それを皆で共感しあえる。
- ・争いごとをなくしていくために、相手の思いやり、自分の行動に責任をもっていく。
- ・世界が平和になるために、いつでも自分の行動を反省して、ケンカなどがなくなるようにする。
- ・物事を皆で決めるには、一度皆の意見を受け入れてから、どの意見が一番最適化を検討して決める。



ピースフォーラムで完成したピースアート